

8月の図書館イベント

中央図書館映画上映会(入場無料)

いわずさきひろ ～27歳の旅立ち～

<上映時間:96分>

●日時 19日(金) 開場18:30 上映19:00～

※第3金曜日の上映です。

●場所 穂高交流学习センター「みらい」
多目的交流ホール

ドキドキ・ワクワクおはなし会

◇ 中央図書館

おはなしのとびら おはなしのへや

3・10・17・24・31日(各水曜日)

10:30～(乳幼児以上対象)

おはなしとしゃかん おはなしのへや

20日(土) 10:30～(乳幼児以上対象)

◇ 豊科図書館

ちいさいたんぼぼ 多目的室

19日(金) 10:30～(乳幼児対象)

おはなしたんぼぼ 多目的室

19日(金) 16:30～(幼児以上対象)

◇ 堀金図書館

おはなしのへや 絵本コーナー

16日(火) 10:30～(乳幼児以上対象)

16:30～(幼児以上対象)

おりがみのへや 絵本コーナー

24日(水) 16:30～

◇ 明科図書館

ひまわりおはなし会

ひまわりハーモニーホール

27日(土) 11:00～(乳幼児以上対象)

アンサンブル藝弦
出前ミニコンサート

穂高交流学习センター「みらい」
TEL 81・3111 FAX 82・0966

堀金支所、三郷公民館しゅん工を記念して開催します。また、明科子どもと大人の交流学习施設「ひまわり」でも開催します。「ひまわり」のコンサートの後には、上映会も開催します。(上映会の詳細は、14ページをご覧ください。)

●日時・場所 ▽8月3日(水) 午後1時30分～2時・「ひまわり」2階ハーモニーホール
▽8月4日(木) 午前9時45分～10時15分・堀金支所1階市民ロビー
▽8月4日(木) 午前11時30分～正午・三郷公民館講堂

高橋節郎記念美術館の催し

安曇野高橋節郎記念美術館
TEL 81・3030 FAX 62・0551

夜のミュージアム

延長無料開館&コンサート

ジャズコンサートを鑑賞した後、安曇野花火を見学します。当日は午後5時から入館無料、午後9時まで開館を延長します。

●日時 8月14日(日) コンサート開演 午後6時～7時

●場所 ▽コンサート 美術館中庭(雨天時 メディアフォーラム)

●出演 モダン・デュークス(テナー・サクソス/宮坂宏一 ピアノ/中田光男 ベース/小澤孝太郎 ドラム/宮坂和憲)

●入場料 無料

●申し込み 不要 ※コンサート・花火見学のみ参加も可能。

●演奏曲目 『Summer Samba』

「早春賦ボサノヴァ」ほか

企画展「高橋節郎の軌跡と出会いと初期作品」記念講演会

開催中の企画展に併せて講演会を開催します。聴講は無料です。

●日時 8月21日(日) 午後2時～3時

●場所 美術館主屋

●講師 信濃美術館学芸課研究主

幹 瀬尾典昭さん
●演題 高橋節郎の周辺・東山魁夷と石井柏亭を中心に
●申し込み 不要

東洋古典読書会講演会

TEL 71・4022 FAX 73・1801

「古事記にみる神話のまこと」(穂高神社と安曇族の関係)をテーマに講演会を開催します。

●日時 8月10日(水) 午前10時～正午

●場所 豊科交流学习センター

「さばう」多目的交流ホール

●講師 穂高神社権禰宜 等々力良勝さん

●参加費 無料

●定員 60人(先着順)

●申し込み 7月24日(日) 午前10時から豊科図書館窓口または電話で申し込みください。

●日時 8月21日(日) 午後3時



堀金図書館 夏の上映会

TEL 72・3601 FAX 72・3602

新しくなった堀金公民館のスタジオ2で初の上映会を行います。

●入場料 無料
●申し込み 不要
●休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

中央図書館の催し

TEL 84・0111 FAX 84・0116

夜のお話会

「穂高絵本とお話の会」の皆さんが日本や世界の昔話を語ります。こわい話、面白い話など語りの世界を楽しみましょう。

●日時 8月7日(日) 午後6時～8時頃

●場所 「みらい」展示ギャラリー

●対象 小学生以上

●読み手 穂高絵本とお話の会

●日時 8月21日(日) 午後3時～(開場午後2時45分)

●場所 堀金公民館(堀金複合施設3階) スタジオ2

●内容 『時空を超えた宇宙の絶景』ハッブル宇宙望遠鏡』(日本語版・50分)

●定員 50人(先着順)

●参加費 無料

●申し込み 不要



明科図書館 夏の上映会

TEL 62・1122 FAX 62・1124

明科子どもと大人の交流学习施設「ひまわり」で夏の上映会を行います。

●日時 8月3日(水) 午後2時15分～3時15分

●場所 「ひまわり」2階ハーモニーホール

●内容 アニメ『あらしのよるに』ひみつのともだち』(2014年・日本・50分)

●定員 60人(先着順)

※未就学児は保護者も一緒に参加ください。

●参加費 無料

●申し込み 不要

子ども映画上映会

●日時 8月20日(土) 午後1時30分～(開場午後1時)

●場所 「みらい」多目的交流ホール

●定員 200人(先着順)

●申し込み 不要(直接会場へお越しください)

●内容 「ユニコ魔法の島へ」(90分)



この目で見たい! 4000年前の縄文人～里帰りした明科北村遺跡出土の縄文人骨～

豊科郷土博物館 TEL 72・5672 FAX 72・7772

長野県立歴史館から県内各地を回る巡回展「長野県の遺跡発掘2016」に先がけ、協賛展示として縄文時代の遺跡である明科北村遺跡から出土した人骨をテーマにした展示をします。市の宝ともいえる実物の「縄文人骨」や土偶などの重要な出土遺物を通し、安曇野における縄文時代の実態を紹介します。

●日時 7月23日(土)～11月6日(日)

●場所 豊科郷土博物館 1階エントランスホール

●入館料 大人 100(80)円 ()内は20人以上の団体料金
中学生以下・市内在住の70歳以上の人は無料

●休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は開館)・9月20日(火)、10月11日(火)

※巡回展「長野県の遺跡発掘2016」の会期は9月3日(土)～10月16日(日)です。



人骨 北村遺跡出土



産着に刺繍された背守り
(北穂高 昭和29年)

その昔、生まれたばかりの幼児は、生死の淵にいる弱い存在と考えられていました。そのため、肉体も魂もこの世に定着させるためのさまざまな儀礼が行われてきたのです。例えば、魔物は背中から来ると考えられていたため、無防備な背中には、着物の縫い目の「目」が必要でした。幼児の着物には縫い目がないため、それに代わる「背守り」を縫い付けて悪霊から守ろうとしました。

背守りには、麻の葉・目籠などの模様や、布を三角形に縫ってその中にお守りを入れるものなど、さまざまな形態がありました。

再発見! 安曇野の文化

TEL 71・2465 FAX 71・2338

背守り

その昔、生まれたばかりの幼児は、生死の淵にいる弱い存在と考えられていました。

そのため、肉体も魂もこの世に定着させるためのさまざまな儀礼が行われてきたのです。例えば、魔物は背中から来ると考えられていたため、無防備な背中には、着物の縫い目の「目」が必要でした。幼児の着物には縫い目がないため、それに代わる「背守り」を縫い付けて悪霊から守ろうとしました。